



竹原 亜生

質問

令和2年度の経常収支比率は

町 経常経費縮減が必要

問 令和2年度の経常収支比率の見通しは。

答 人件費の増加により、1%増加し94.5%の見込みとなり、経常経費縮減が必要となる。

問 友愛の森2期工事を実施するのか。

答 新館、防災館などの設計を新たに行う。

問 学校給食の無料化は。

答 財政の全体的なバランスと優先順位を見極めて進めていく。

問 保護者は子どもに安全安心な給食を望んでいる。無料化に替えて、給食の質を高めるため、食材費を町が支援する考えは。

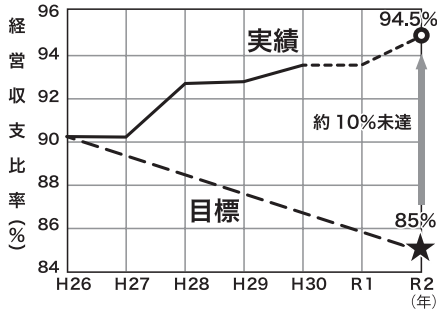
答

給食無償化の導入効果を精査しつつ、町民の意見を聞きながら進めていく。

問 介護保険、国保の基金積立が目標以上になった時、税の見直しはするのか。

答 介護保険料は3年計画で決めており、最終年に見直しをする。国保は、高齢者の増加が見込まれており、当面は推移を見守る。

経営収支比率の大幅未達



学校給食について

質問

給食の米を有機米にできないか

町 価格等の問題がありすぐには難しい

問 給食費の管理方法は。

答 学校単位で徴収や管理業務を行い、保護者が会計監査をしている。

問 給食費の徴収などを町で行う公会計化の導入は。

答 なるべく早いうちに公会計化を実施したい。

問 国の第3次食育基本計画では、給食食材の地産物の使用割合目標が30%以上となっている。町の地産食材の割合は。

答 9.1%である。

問 町の食育推進基本計画はたった一行書かれているだけで、地産食材の使用目標すらない。地産食材の使用比率が低いのはなぜか。

答 おかずに加工済食材品を多く使っているなどの理由による。

問 保護者は成長段階の子どもに安心できる有機農産物を食べさせたいと願っている。給食の米を地元の有機米にできないか。

答 価格や供給体制に問題があり、すぐには難しい。



●ほかに「災害対策について」の質問もしています。